

令和3年度事業報告

I 総括

1 概況

(1) 法人運営体制

令和3年6月、評議員、理事、監事、評議員選定委員の任期満了に伴う改選により次期役員等の体制が決定し、全員が重任となり定数は充足しております。

理事会体制は、引き続き理事長に白田陽彦氏、副理事長に石原幸一氏が選任され、常務理事は当面空席とされました。

常務理事不在の運営体制ではありますが、法人内の意思疎通を十分に図り、新型コロナウイルス感染予防対策、サービス提供環境の整備等、法人経営の安定化に向けた取り組みを進めてきたところです。

法人運営に係る各審議等の状況については、評議員会議2回(内書面1回)、理事会議4回(内書面1回)、監事監査は定期監査4回・決算監査1回、評議員選定委員会議1回の開催となっています。

(2) 収支状況

令和3年度の法人収支決算は、資金収支計算書・事業活動収支計算書ともに、収支差額は前年度に続きプラスとなっています。

資金収支計算書での当期収支差額は46千円のプラスとなっていますが、これは施設整備費等積立金15,500千円を積み立て後の額であり、実質的な当期収支差額は15,546千円のプラスになります。

これにより施設整備費等積立金の年度末残額は40,368千円となりました。事業活動収支計算書での当期活動増減差額は4,791千円のプラスとなっています。

なお、特記事項として、暴風雪による通所事業所臨時休業(延べ4日間)と新型コロナウイルス感染拡大による一部利用自粛により、事業収入に300万円程の影響(減収)が生じています。

(3) 実施事業の状況

令和3年度は、当初計画8事業のうち〔児童厚生事業〕「はまなす児童遊園」を除く7事業について、計画どおり事業を実施しています。

〔児童厚生事業〕

①はまなす児童遊園 【休止】

・新型コロナウイルス感染予防対策と遊具等設備老朽化による事故が危惧される状況から、4月の開園を見送り休止としました。

〔介護保険事業〕

①デイサービスセンターひだまり（利用定員 15 名）

- ・指定地域密着型通所介護事業
- ・第 1 号通所事業

②グループホームひだまり（利用定員 18 人）

- ・指定認知症対応型共同生活介護事業
- ・指定介護予防認知症対応型共同生活介護事業

〔障害福祉事業〕

①相談支援センター木馬館

- ・計画相談支援、指定特定相談支援、区分認定調査

②稚内第一木馬館（利用定員 30 人）

- ・指定就労継続支援 B 型事業

③手作り工房どーなつ（利用定員 40 人）

- ・指定生活介護事業
- ・指定自立訓練（生活訓練）事業
- ・指定就労継続支援 B 型事業
- ・基準該当放課後児童デイサービス事業

④生活介護センターあん（利用定員 20 人）

- ・指定生活介護事業
- ・基準該当放課後児童デイサービス事業

⑤メゾン木馬館（利用定員 38 人）

- ・指定共同生活援助事業

（各事業の実績詳細は、別紙「令和 3 年度各事業等の状況」のとおり）

（４）寄附の状況

次の皆様方から現金 3 件、物品 5 件の寄附が有りました。

①(株)エス・ワールド 様	琴五重奏「煌」CD 1 枚
②(有)斎藤海事 様	ティッシュペーパー 5 個入 24 パック トイレットペーパー 12 個入 24 パック
③鎌田真 様（利用者ご家族）	30,000 円
④稚内農業協同組合 様	飲むヨーグルト 70 本
⑤宗谷漁業協同組合 様	貝付ホタテ 200 kg
⑥北海道コカコーラボトリング 様	清涼飲料水 9 箱
⑦村上直美 様	10,000 円
⑧稚内ひかり幼稚園きらきら保育園 様	15,000 円

2 主な取組み事項

（１）新型コロナウイルス等感染予防対策

長引くコロナ禍において、本市でも爆発的な感染拡大が起こるなど以前にも増して厳しい状況が続いていますが、これまでに法人内で感染者は出てい

ません。職員一人ひとりが高い意識で感染予防対策を実践してくれたことが大きな要因と判断されます。

また、新型コロナウイルス及びインフルエンザワクチンの全職員と利用者への接種、感染対策用資機材の充実、利用者及び職員の健康確認の徹底、自己検査キットの活用、感染予防対策マニュアル見直し等の対策を継続しています。

(2) サービス提供体制の充実強化

①施設整備（快適なサービス提供環境の確保）

各施設の整備状況は次のとおりです。

整備箇所	金額
ア. メゾンはまなす外壁及び屋根補修	2,145,000 円
イ. メゾンしおみ外壁及び屋根補修	2,289,210 円
ウ. メゾンはまなす・しおみ温水設備改修	584,650 円
エ. グループホームひだまり 2階浴室改修	677,003 円
オ. 稚内第一木馬館 1号棟食堂兼休憩室整備	4,004,356 円
カ. メゾン潮見 蓄熱暖房機取替（整備計画外）	166,100 円
キ. 手作り工房どーなつ どーなつ焼器購入（整備計画外）	233,200 円
ク. // 厨房シンク交換（整備計画外）	154,000 円
計	10,253,519 円

これら整備に係る財源の一部に施設整備費等積立金 6,116,123 円を取り崩し充当しています。

②人材の確保・育成（職員の処遇向上と専門職の育成）

ア. 賃金の向上

国の制度を最大限活用して、法人経営を圧迫することなく賃金の向上を図っています。

○国の制度活用

- ・ 処遇改善加算制度 最上位区分 I を導入（加算収入増）
- ・ 特定処遇加算制度 新規導入適用（加算収入増）

○制度の活用による加算収入総額

- ・ 令和 3 年度 21,178 千円（対前年度 9,135 千円の増加）

イ. サービスの質の維持向上

○職員研修の充実

- ・ 外部研修への参加 7 回 延べ 12 名参加
- ・ 内部研修会の実施 7 回 延べ 111 名参加

開催	研修内容	参加者等
5 月	・ 虐待及び不適切ケア防止研修（法人内）	15 名参加
	・ 介護記録・介護基礎知識に関する研修（法人内）	14 名参加
6 月	・ 北海道サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修（外部研修）	2 名参加
	・ 障がい者就労支援セミナー（外部研修）	2 名派遣

7月	・介護技術研修～車椅子移乗・食事介助等～（法人内）	12名参加
8月	・虐待防止研修（法人内） ・社会福祉法人会計仕訳演習セミナー（外部研修）	36名参加 2名参加
9月	・北海道サービス管理責任者更新研修（外部研修）	2名参加
11月	・サービス管理責任者基礎研修（外部研修） ・転倒事故等に関する研修（気道異物除去・心肺蘇生法）（法人内）	1名参加 10名参加
12月	・サービス管理責任者実践研修（外部研修） ・事故対応（転倒・裂傷・骨折）演習研修（法人内）	1名参加 12名参加
1月	・事故対応（誤嚥・窒息・心肺蘇生法）演習研修（法人内）	12名参加
2月	・相談支援従事者研修～サービス管理責任者/児童発達支援管理者向け研修～（外部研修）	1名参加

○有資格者の育成

受験（受講）費用の助成や受験時の就業義務免除等により、有資格者の育成を継続して推進しています。

- ・介護福祉士資格の新規取得 2名
- ・サービス管理責任者資格新規取得 1名

○法人内委員会の充実

適切なサービスを提供していくために、職員による内部検討チーム（法人内委員会）の体系を見直し、具体的なサービスの在り方についての研究検討をおこなっています。

- ・給食委員会（継続）
- ・虐待防止委員会（新設）
- ・感染症対策委員会（新設）
- ・事故防止委員会（新設）
- ・非常災害対策委員会（新設）

（3）非常災害対策計画の策定と避難所の確保

地震・津波等の災害発生時における利用者の安全確保を目的とする「非常災害対策計画」を策定しました。

また、同計画による「災害時の避難場所」に関し、稚内大谷高等学校と協議を進めてきましたが、同校の建物使用に関する協定締結について合意に達したところでは、（令和4年4月協定締結予定）